

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧 1-26-3
園名	キッズサポート多摩第二めぐみクラブ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

音を出すことが遊びのひとつになっていた 4 月の頃は、「ガチャガチャ」「ギーギー」と言う音を出すのに物を落としたり、机の上でコップをひっくり返したりしてこすり合わせるなど、誰かがやり始めると真似する児がいて、うるさいぐらいの音が響いていることがあった。音に敏感なので、いろいろな音に触れたり、音というものを探ったりしながら、好きな遊びの中で、楽しんで音を作るようにしてはどうかと考えた。

2. 活動スケジュール

- ① ビーズや鈴を使って、透明ホースで作ったリングで遊ぶ。楽器に触れる（鈴）
- ② オーシャンドラム作り
- ③ 風鈴を部屋につるす
- ④ いつも遊んでいる玩具を使って音を出す
 - ・お弁当箱やカップにチェーンリングを入れる
 - ・滑り台からチェーンリングを滑らせる
 - ・アイクリップをつけて鳴る音を楽しむ
- ⑤ 戸外へ出て、自然物を使った遊びの中で、音を探す
 - ・落ち葉のガサガサという音
 - ・どんぐりを落とした時の音
 - ・池に張った氷を取って割ったり池に投げたりしたときの音
- ⑥ 遊びの中で音を作る
 - ・滑り台からボールを転がしてボウリングで遊ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・透明ホースにビーズや鈴を入れて輪にし、遊びに取り入れた
- ・オーシャンドラム作り（手作り楽器）
- ・風鈴をつるし、サーキュレーターで風を起こす
- ・滑り台を用意する
- ・滑り台に鈴を2本取り付ける
- ・ペットボトルに拾ったどんぐりを入れる

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① チューブ（ホース）にビーズや鈴を入れた輪を作り、遊びに取り入れる（大・中・小）
- ② 『親子で遊ぼう会』に於いて曲に合わせて音をならして楽しんだ
 - ・オーシャンドラム作り
 - ・風鈴に鈴虫とベル（12月）のイラストをつけてつるす
- ③ いつも使っている玩具を使って楽器を作ってみる
- ④ 戸外へ出て、自然物を使って遊んでみて、どんな音がするか聞いて表現してみる
- ⑤ 滑り台からボールを転がしボウリングで遊ぶ
 - ・滑り台につけた鈴とどんぐりの入ったペットボトルからの音

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・いつも遊んでいるチェーンリングをお弁当箱に入れて振ってみたり、アイスのカップの中に入れて振ってみたりとお友だちの真似をしながら、何個も入れて遊ぶ姿が見られた
- ・滑り台からチェーンリングを保育者が落としてみると、ザーッという音がしたことに歓声をあげて何度も何度も滑らせていた
- ・氷の張った池から氷を取ってもらおうと、「パリン」と割れるのが面白く、そのうちに池の法へ投げてしまったが氷の上に氷が当たる音がして「シャーっていったね」と表現して何度も繰り返していた

5. 振り返り

子ども達はいろんな音に囲まれているが、心地良い悪いは関係なくどんな音も注意深く聞いている。日常生活の中での生活音、他クラスの活動中の音など、「なんのおと」とよく聞いている。それによって安心感を持ったり、納得したりして自分の中での知っている音として取り入れていると思った。今回、室内だけでなく戸外でも音を探して楽しんだが、やはり遊びを通して音を出すことの面白さは格別ようで、大好きな滑り台を使ったボウリングは、鈴が心地よく鳴った後、加速がついているのでより一層ペットボトルが倒れる時の音が大きく、変化もあって楽しめたのだと思った。

<振り返りによって得た先生の気づき>



P な



開



どで公